



平成 31 年 1 月 4 日

各 位

会 社 名 中国工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 野村 實 也
コ ー ド 番 号 5 9 7 4 東証第 1 部
問 合 せ 先 常務執行役員 経営管理部長 小田 和 守
(TEL 0823-72-1322)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社株式につきまして、平成 30 年 12 月において、月間平均時価総額および月末時価総額が 20 億円未満となりましたので、今後の見通しについてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成 30 年 12 月末時点において、下記（ご参考）のとおり月間平均時価総額および月末時価総額が 20 億円未満となりました。

東京証券取引所の有価証券上場規程第 311 条第 1 項第 4 号本文では、9 ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を 3 ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては、3 ヶ月）以内に毎月の月間平均時価総額および月末時価総額が 20 億円以上とならない時は、市場第二部銘柄に指定替えになる旨規定されております。

（ご参考）

東京証券取引所における当社株式の	平成 30 年 12 月の月間平均時価総額	:	1,837,980,000 円
東京証券取引所における当社株式の	平成 30 年 12 月の月末時価総額	:	1,692,900,000 円
	平成 30 年 12 月 28 日終値	:	495 円
	平成 30 年 12 月 28 日上場株式数	:	3,420,000 株

2. 今後の見通しについて

当社グループの第 2 四半期累計期間の連結業績は、平成 30 年 11 月 7 日に公表しました通り 前年同期比で 売上高が増加しましたものの、利益面におきまして売上の製品構成変動による利益の減少や鋼材仕入価格の上昇に伴うコストアップ分を販売価格に十分転嫁できなかったことなどにより、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益ともに赤字が拡大しました。

当期の通期業績見込みにつきましては、下期に主力製品の LP ガス容器の需要増加に対応し受注の拡大、販売価格の改善、固定費の削減等に一丸となって取り組んでおり、黒字決算になると見込んでおります。

こうした状況におきまして平成 30 年 10 月以降株式市場の株価下落の影響もあって当社株価も急速に低下しておりますが、今後も当社グループとしましては販売価格の改善などの収益向上に係るあらゆる

課題に継続して取り組み、安定した利益を確保することにより株価向上を目指し、引き続き東京証券取引所一部における上場を維持するよう努めてまいり所存であります。

なお、今後3ヶ月以内に「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をお掛けしますが、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

(ご参考) 平成31年3月期 連結業績予想 (平成30年5月14日公表を変更しておりません)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
予 想	12,600	110	140	80
前年実績 (平成30年3月期)	12,028	83	119	92

※上記業績予想につきましては、発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであります。今後様々な要因により業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。